

# セルリの栽培 (三)

大 岩 金

本題を掲げて如斯事を何故くどく申し述べて居りますかを一言申し上げて私の意の有る所を明にしておきたいと思ひます。

本稿はもとセルリに名をかりて一般野菜及草花等の植物を栽培するに當つて最も肝要な事項と思ふ點に就て凡論の意味を含ませ根本的にと申しますは少し廣言でありますが出来得る限り根本的に記述して園兒の情操を養ふ爲に種々の植物を栽培なさいます皆様の御參考ともなりませんならば幸甚に存じます次第でありますから本稿そのものは甚だ無味で具體的のもの少く申し譯ないものと思ひますがど

うぞ御一讀をお願ひ致します。

## 施肥の適期

次に施肥の適期を記述するのでありますが、是は土壤の性質と肥料の可溶性になる度の遅速とに依つて異なるのであります。

多孔質の土壤でありましたならば、上級の肥料即ち金肥の速効性の肥料を早くから施用します事は推奨した事ではありませんし、吸收力の強い土壤でありますと可溶性の肥料を稍早く施用しましても比較的安全であります。でありますから多孔質の土壤に於きましては厩肥或は堆肥の如き肥料を使用する方が安全であります。殊に乾燥地方で

ありましては毎年施用するにも及びません。

概して右の厩、堆肥或は骨粉、粗燐鑛の様な遲効性肥料は作付します一―二ヶ月前に施用するのが理想的であります。

寒地でセルリと他の作物の輪作をする場合の如きは春季におきまして一エーカーに對して二〇―三〇トンの厩、堆肥を施用しておきまして夏季に玉蜀黍の様なものを栽培しまして收穫しますや直ちに土地を耕しまして一エーカーに對して二〇〇ポンドの生石灰或は一〇〇〇ポンドの骨粉を施しておきまして冬を越し早春降霜の無くなつたのを見て播種します。その時一〇〇〇ポンドの金肥をセルリの各株に分けて施します。それから後二―三枚の葉が出る頃の手入としまして三〇〇―六〇〇ポンドの硫酸アンモニアを施用します。

前述しました様に玉蜀黍或は粟、黍等と輪作するのは普通四年目位としまして此の際は充分厩、

堆肥を施して栽培して土壤に充分有機物を施すのであります。

### 肥料配合の割合

土質の相違に従つて施肥さるべき肥料の配合の割合も變化がなければなりませんから是が確定には注意注い試作に依つてなす可きであります。今一般的の例を左に示して見ます。

腐植土或は坭炭土の如き場合

此の場合是一般に窒素質に富んで居りますが、酸、及び石灰に不足してゐるものでありますから次の様な割合が用ひられて居ります（單位一エーカー）

二〇〇ポンドの硫酸アンモニア（窒素二五%を含有するもの）  
燐鑛一〇〇〇ポンド（燐酸一六%）  
鹽化加里（加里四〇%）

或は又次の様な例もあります。

有効性の骨粉三五〇ポンド（窒素二―三%と有

効磷酸一五%)及鹽化加里一五〇ポンド(有効性加里四〇%)

以上の様な割合に配合して施用されて居ります。

#### 砂質土壤の場合

如斯土壤におきましては一般に窒素が不足でありまして又大變多孔質の土壤になりますと一般に加里も缺乏してゐるものであります。依つて此の状態の土壤に施します肥料の配合の例を挙げますと次の様なのがあります。

硫酸アンモニア二〇〇ポンド(窒素二五%)有効性骨粉四〇〇ポンド(窒素二一三%と有効性磷酸一六%)上骨粉血液三〇〇ポンド(磷酸一〇%)及鹽化加里一〇〇ポンド(加里五〇%)

或は次の様な例も用ひられて居ります。

硫酸ナトリウム一〇〇ポンド(アンモニア一七或は窒素一四%)硫酸アンモニア五〇〇ポンド(ア

ンモニア二五%) 磷酸物八〇〇ポンド(磷酸一六硫酸加里二〇〇ポンド(加里五〇%))

其の外種々の例を挙げればなりますが、まづこの位にしておきますが要するに前記の肥料は生育期間中に寛大なる窒素の施用を目的としたものであります。

尙肥料そのもの、取扱ひに就て一言申し添へておきます。

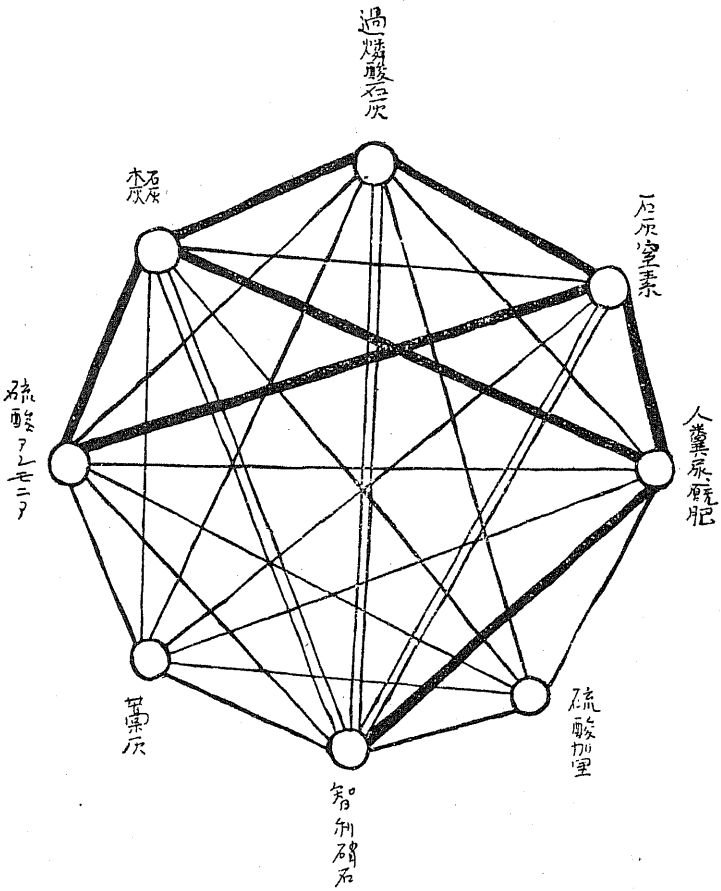
即ち硝酸ナトリウムの如き形の窒素肥料を貯藏しておきます時は囊に入れて積み重ねておくとか或は濕つてゐる場所におきます時は無効のものになりますから注意せねばなりません、今一つ硝酸ナトリウムとか加里の鹽類の肥料は貯藏中水分を吸収しまして惡變する事でありませぬ。

肥料を混合する時は肥料を床の上に出して靜かにシヨベル等で攪拌しまして篩を用ひて篩ふのもよい事でありませぬ。この場合肥料が濕つてゐませぬ。

混合ニテナリモノ

混合ニテ長クオスヘワラナルモノ

混合スヘワラナルモノ



と塊を生じまして混合に不便でありますから肥料は注意して乾燥させておかねばなりません。

又肥料中には混合してよいもの悪いもの或は混合して貯藏しておけぬもの等がありますから次にその一覽表を示しておきます。

### ダリヤの普通の作り方

少し植込時期と致しましては遅れた感がありますけれどもダリヤに就て一通申し上げます。

#### 假植

昨年の秋霜が降り出しまして地上の部分の切つて塊根を掘り出し深く地中に埋め込んでありますものを四月上中旬になりました掘り上げ是を假植して芽を出させるのであります。

場所はなるべくならば暖かい所即ちフレームなどを利用して此の掘り上げた塊根を竝べその上に薄く土をかけるなり、藁、或は籾の類を覆ひまし

てその上に撒水し更にその上に硝子障子をかけておきます。

そして乾燥しましたならば時々撒水してやります。

このやうにして地上に芽のゝぞくの待つのであります。この時覆土が深いと芽が長く伸び過ぎまして芽分けをする時に自然と芽を損し易くなりますから芽の出る程度は只其の位置がわかる丈で充分であります。

#### 芽分

ダリヤの芽はジャガ芋の芽のやうにどの部分からでも出るといふ譯には參りません。只芋の上部の莖に接してゐる所からのみ出るものでありますから是によく注意して芽分けしなければなりません。それですから昨年の古い莖に數個の芋と數個の芽とがついて居りましたならば必ず芋一つに芽を一つ以上つける様にして缺又は切出で芽を分け

ます。

このやうにダリヤにとりましては先づ第一に芽の存在が大切な事でありますから塊根を購入の際にはよく注意してよい芽があるか否かを調べなければなりません。塊根の下部が少し位切れてゐても差支へありませんが如何に大きな芋でも上部の莖に接した部分が傷つきなどして芽の存在しない様なのはダリヤの苗としての價値はありません。

### 植込

芽分けした芋は四月下旬から五月上旬にかけて霜のおそれがなくなりましてから植込込むのであります。

土壤はさほどむつかしく選ばなくてもよいのであります。只日照のよいといふ事は大切な事であります。日照の悪い時には丈のみ長くなりまして花がつかせせん。

植込込む深さは五六寸、株間の距離は二、三尺

に致します。又植込穴には堆肥、腐葉の類を入れて土とよく混合しておきその上に芋一つ宛を入れるのであります。

この時竹の支柱をも一所に立て、おきますれば芋をつき通す様の心配がなくてよいのであります。かく致しまして芽の伸長致しますにつれて莖はこの支柱に結びつけてゆくのであります。そして着花までに數回の液肥（油粕類、下肥等）を施します。

### 支立方

一つの方法は芽が出て五、六節になりました時其の心を留めるのであります。そして腋枝が澤山出る中強さうな枝を三本位置きまして他を摘除しましてその枝が四、五節になりました時又心を留めて各々の枝に二本位の枝を置きます。そして合計一〇—一五位の花をつけるのであります。

今一つの方法は心を伸ばして腋芽をとるのであ

ります。但し下方の、みをとつて上方の腋芽は殘して前同様一〇—一五位の花をつけるのであります。又各枝に花一つつくとは定まらないものでありますから着花しましたならば最もよい蕾を一つ残してすぐつてゆくのであります。

### 開花

盛夏の候でも少しは開花致しますけれども觀賞に價するものは初夏の候と秋との二回であります。それですから第一回の大體終りました七月下旬頃になりましたならば未だ着花して居りましても下から五六節の所で莖を切るのであります。そして充分に液肥を施しまして發芽をさせて夏の間繁茂させ秋に花を咲かせるのであります。この期の花は却つて初夏のよりも美事であるといはれて居ります。それは濕氣が少なく冷やかである爲に花の色がよいのだといはれて居ります。

### 掘上げ及び貯藏

秋の終りになりましたして葉が枯れましたならば塊根を掘り上げて是を貯藏するのであります。

開花期におきまして莖に付けてあります名札は掘り上げました際數寸に切り殘した莖なり或は芋なりにしつかりと結びつけておくのであります。そして土を三、四尺の深さに掘りましてこの穴の中に塊根を竝べその上に地表より稍々高い位になるまでに覆土し更に其の上に籩の類を敷きまして凍結と水溜りになるのを防ぐのであります。かくして又來春霜の下りなくなるのを待つて掘り出すのであります。

### 種類

種々の分類の仕方がありますが今此所では花の形に依りましたして五六種に大別して述べます。

#### カクタス

花瓣が非常に細くて、少しよれて居ります。又花瓣の數も多く菊に似て居ります。そして是が園

藝品種として扱はれて居ります。

ピオニー

花瓣の長さも幅も最も大なるものでありまして普通八重であります。そして花の形が牡丹に似て居りますのでその名を得たのであります。全體の花形も最も大きいのであります。

デコラチーブ

花瓣が長さも幅も大きいのでありますがピオニーには及びません。大抵は是も八重であります。

シヨ

花瓣が管の様に卷いて居りまして多數重なり合つて丸く盛り上つて居ります。

ボンク

花形はシヨによく似て居りますけれどもものと小さいのであります。そしてシヨより丸く盛り上つて居ります。又花首がしつかりして居りますので切花用としてよいのであります。

コレレット

小さい花瓣が中にあつてその周圍に一重の舌状花のあるものであります。

シングル

花瓣の一重のものであります。

附記

繁殖方法には前申し上げました芽分法の外新種を得る爲にのみ多く行はれます實生法や鉢支立にしたり腋芽を利用する爲めの挿木法などもありますけれども此所では略しておきます。

\* \* \*

\* \* \*